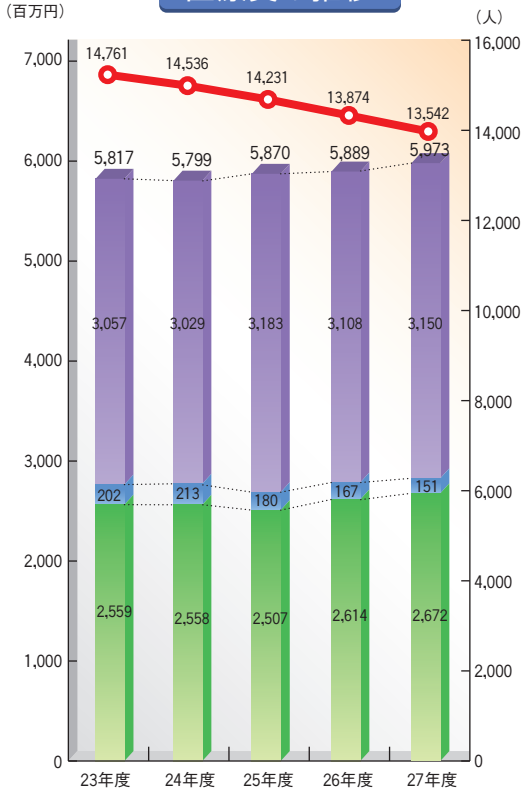


# 那須烏山市

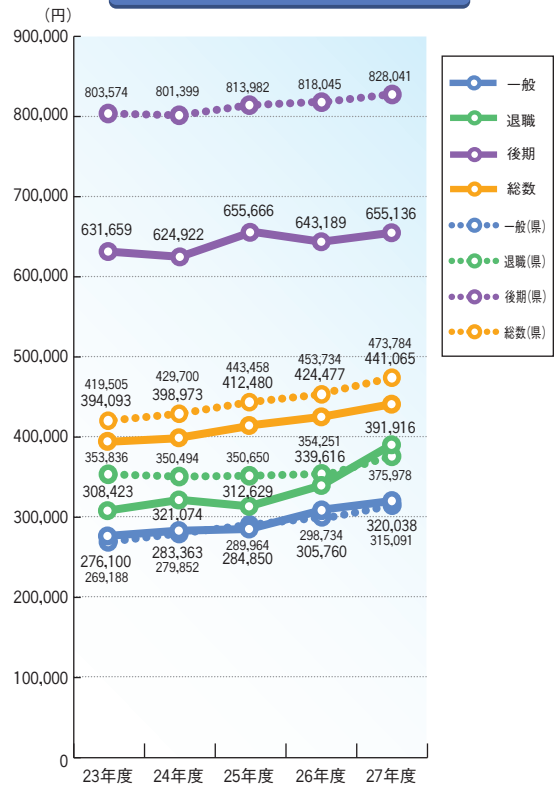
# 那須烏山市



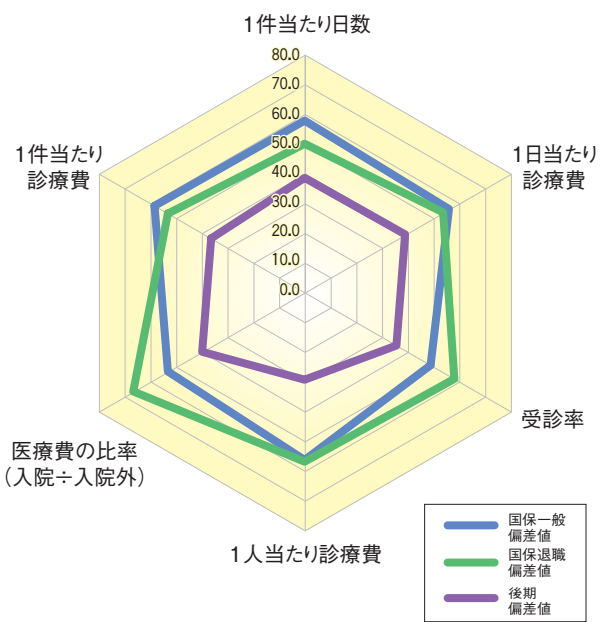
### 医療費の推移



### 1人当たり医療費の推移

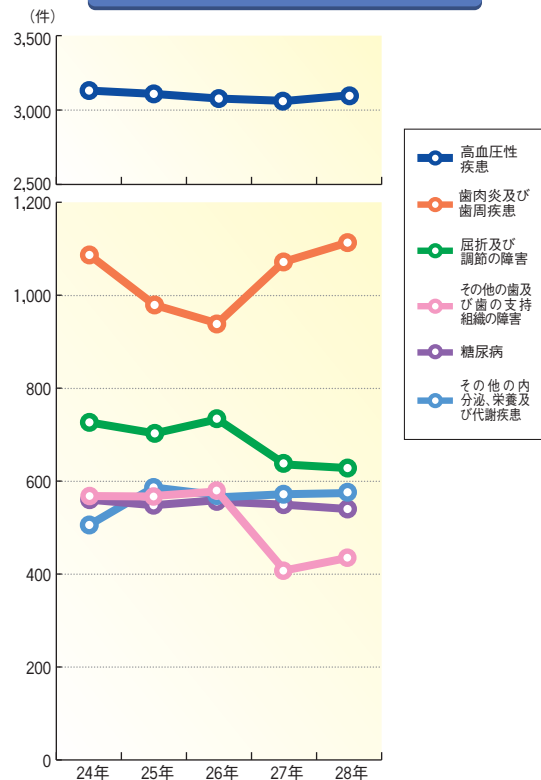


### 平成27年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

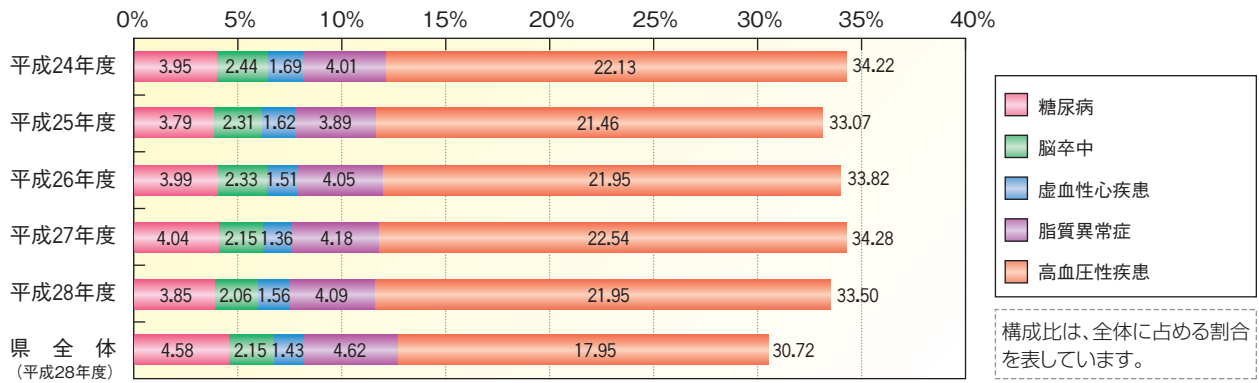


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

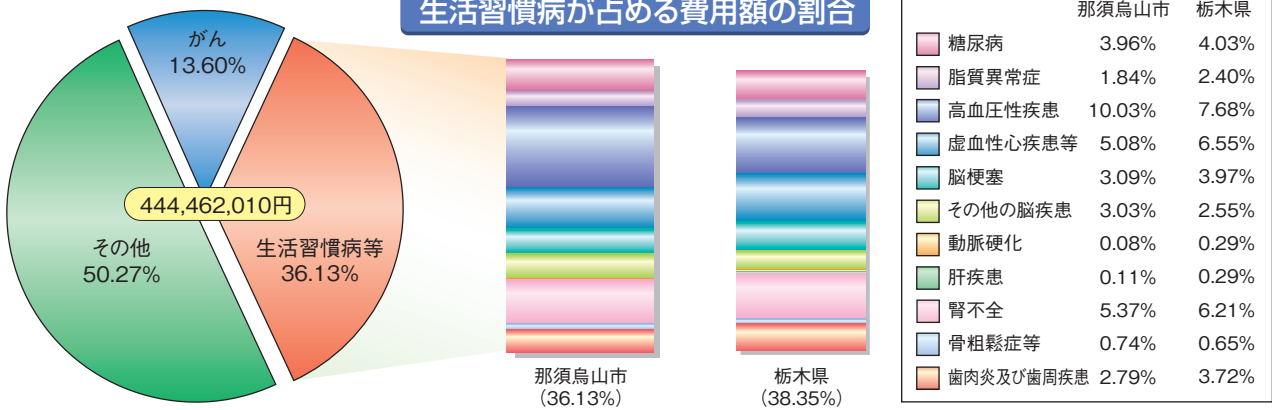
### 多受診疾病上位6位の推移



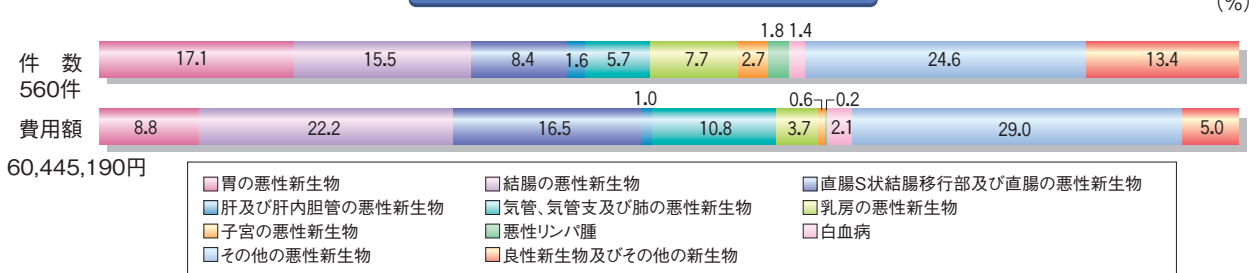
## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## 生活習慣病が占める費用額の割合



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 那須烏山市の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,671,678円(102.2%)、退職151,280千円(90.4%)、後期3,150,058千円(101.4%)で、全体では5,973,015千円(101.4%)と増加している。( )は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は13,542人で、内訳は一般8,348人、退職386人、後期4,808人である。前年度比較すると全体で97.6%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は441,065円(16,588円増)、一般は320,038円(14,278円増)、退職は391,916円(52,300円増)、後期は655,136円(11,947円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、受診率以外の諸率がいずれも高く、退職は全ての項目がいずれも高い偏差値となっており、後期は、全ての諸率において、低い偏差値となっている。

### ★疾病の状況

平成28年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌・栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、過去5年上位6疾病に変動はなく、件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

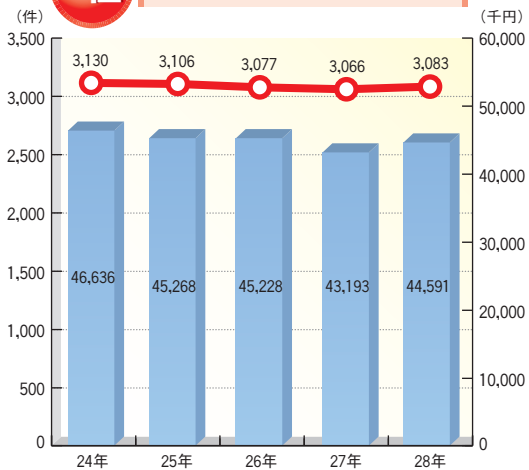
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成値は高く、中でも高血圧性疾患の占める割合が高い構成値となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が444,462,010円で、がんが13.60%、生活習慣病関連が36.13%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.03%、腎不全5.37%、虚血性心疾患5.08%となっている。

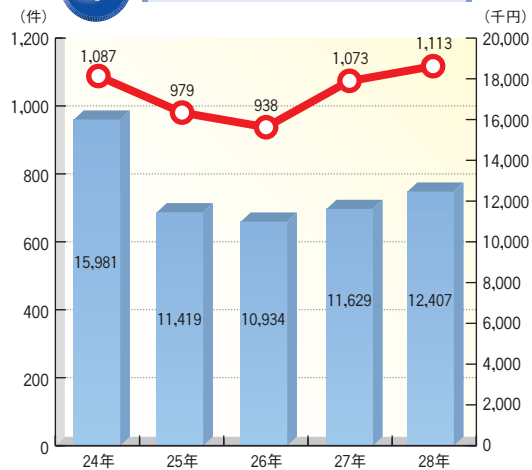
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、結腸の悪性新生物、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

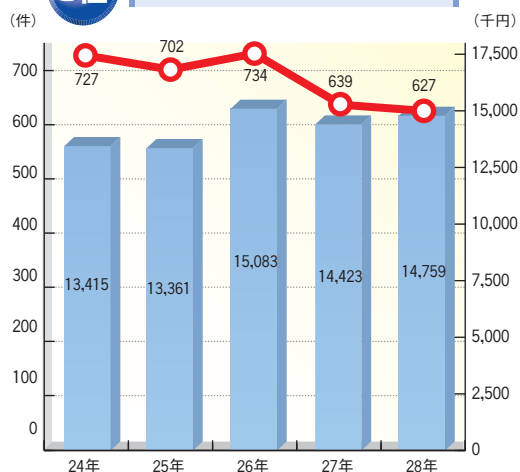
## 1位 高血圧性疾患



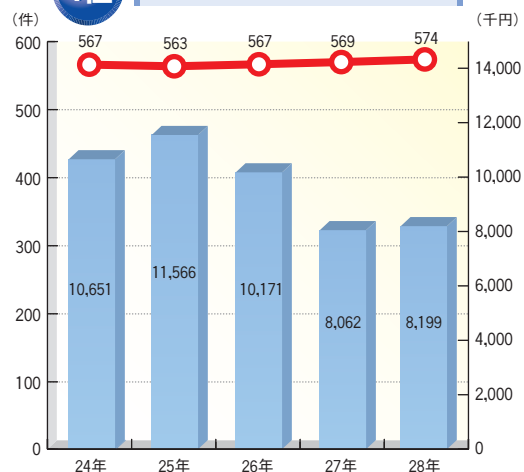
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



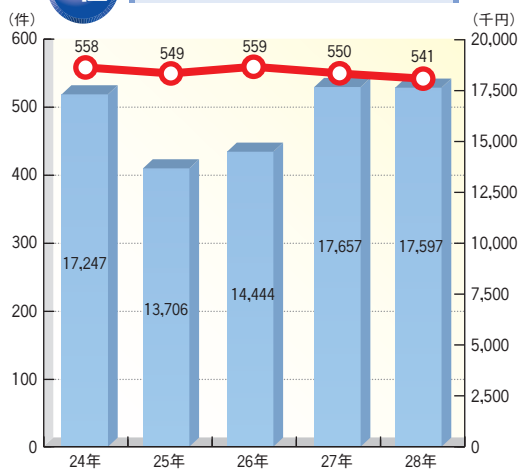
## 3位 屈折及び調節の障害



## 4位 その他の内分泌・栄養及び代謝疾患



## 5位 糖尿病



## 6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

